

クラブ紹介

同窓



民族舞踊部

私達、民族舞踊部は日本舞踊を除く世界の踊りをみんなで楽しく学び踊ろうというサークルです。現在部員数は男子9名、女子10名の計19名で毎週火・金曜日に活動しています。

民族舞踊という少しマイナーなイメージがわいてしまうのですが、世間一般にフォークダンスと呼ばれているものが民族舞踊です。私達が練習している曲は年間で60~70曲ほどあり、その中にはマイム・マイム等の有名な曲も含まれています。ただ、年間70曲近くも練習するため、部員全員が、全ての曲をおぼえるのは大変です。そのため各自が気に入った曲を中心に練習しています。

こうして覚えたダンスは大学祭で発表するほか、他大学のフォークダンスサークルとダンスパーティーを開いて楽しんだりしています。ダンスのサークルは日本中にたくさんあり、その内の東海地区の大学とは盛んに交流をもち、年間で5、6回は大きなパーティーが開かれています。ここでダンスを通じて他の大学の人々と知り合えるのが我がサークル最大の楽しみであり、フォークダンスサークルならではのようです。

これからも、ダンスを通じてさまざまな人達と知り合えたらと思います。

(主将・狩野 匡(英米3年))

現役の名学大生より日々のクラブ活動についてコメントをいただきました

アーチェリー部

アーチェリー部は、現在26名の部員で活動しています。アーチェリーというと、個人競技と思われがちですが、毎年春に行われるリーグ戦では、男子は11人中8人の合計点数、女子は7人中5人の合計点数での団体戦となります。女子は人数が6人と少ないこともあって苦戦しますが、男子は昨年2部リーグを4勝1敗と健闘しました。順位決定戦では、惜しくも敗れ優勝を逃がしましたが、今春は2部リーグ優勝、そして1部リーグへの昇格を目指しています。

アーチェリーは精神的にも体力的にも厳しいスポーツです。個人差はありますが、試合でのプレッシャーは実に大変なものです。試合は2日以上にも及ぶ



場合があり、緊張の連続となります。技術だけでなく、体力や精神力も重要なのです。しかし弓を引き矢を射つこと自体はそれほど難しいことではありません。腕力に自身のない人でも、少し訓練すれば軽い弓くらいは引けるようになります。激しい運動でもないのに、老若男女が楽しみ、かつ真剣に打ちこめるスポーツです。

一人一人が努力し成長することが、チームとしての強さにつながります。今後とも強いチームになれるよう努力していこうと思います。

ハンドボール部

我々ハンドボール部は、部員、マネージャー合わせて28名で活動しています。練習時間は毎日約3時間、キャプテンを中心に行います。

ここ数年2部リーグ1位という成績を修めながらも入れ替え戦では、結果を出すことが出来ず涙をのんできました。こうした悔しさを胸に日々努力した結果、



秋季東海学生リーグ大会では、ケガ人も少なくチームが万全の状態でのぞむことができ、入れ替え戦では名古屋大学を相手に圧勝し、待望の一部リーグ昇格へと、こまを進めることができました。

この競技は、日本ではまだマイナーなスポーツであるため、どんなものかピンとこない人も多いと思いますが、これは、サッカーとバスケットを合わせたようなものであり、またボールを握る際に松ヤニを使うのもこの特徴であると言えるでしょう。フィールドプレーヤー6名、キーパー1名の意志疎通とともにより団結力を必要とされるのです。

今後私達は、今まで以上に高いレベルを望み、要求していかなければなりません。チームが自分に負けない強さを持ち、努力していくのがこれからの課題です。